百年の時空を越えて、
日本民俗学の創始者・柳田國男、
日本を代表する漫画家・水木しげる、
二つの偉大な魂が出会い
新たな『遠野物語』が出現した。
『水木しげるの遠野物語』の
貴重なマンガ原画と
柳田國男の『遠野物語』資料との
コラボレーションによって、
河童、天狗、ザシキワラシ、
山男山女、狐、魂のゆくえ…
人々の暮らしのあちこちに、
暗い闇が残っていた頃の
『遠野物語』の世界が、今よみがえる。

柳田國男 Yanagita Kunio

1875年（明治8年）兵庫県神崎郡福崎町に生まれる。青年期より文学に親しみ歌人松浦萩坪に師事し、森鴎外、田山花袋、島崎藤村、国木田独歩などの文学者たちと親交を結ぶ。1897年東京帝国大学（現東京大学）に入学、農政学を学ぶ。1900年農商務省に入省、農業行政指導のため地方を歩く。1908年に東京の自宅で遠野出身の佐々木喜善と出会い、遠野の伝承を聞く。1909年に遠野を訪れ、1910年『遠野物語』を出版。以後、『都市と農村』、『妹の力』、『先祖の話』、『海上の道』など多くの著作を著し、日本民俗学を樹立した。1940年朝日文化賞受賞。1951年文化勲章受章。1962年死去。

今年、柳田國男著『遠野物語』が発刊100周年を迎えました。

明治43（1910）年、当時高級官吏だった柳田國男に遠野出身の大学生・佐々木喜善が数多くのふるさとの伝承を話したことがきっかけで『遠野物語』が誕生しました。遠野の地勢にはじまり、神々の由来、天狗や河童、ザシキワラシ、魂の行方、神隠しや歌謡など、遠野に伝わる不思議な話が119話にまとめられています。『遠野物語』は民俗学の金字塔と称され、柳田の洗練された見事な美文により文学的にも高く評価され、今なお、多くの人々を魅了しています。

水木しげる Mizuki Shigeru

1992年（大正11年）鳥取県境港市に生まれる。本名、武良茂（むらしげる）。幼い頃、近所に住む老婆「のんのんばあ」から妖怪の話を聞き、不思議な世界に興味を持つようになる。21歳の時に召集を受け、ラバウルに出征。爆撃により左腕を失う。復員後、紙芝居画家などを経て1957年『ロケットマン』で貸本漫画家としてデビュー。1966年別冊少年マガジンに発表した『テレビくん』で講談社漫画賞を受賞。以後、人気作家として第一線で活躍し、妖怪研究家としても知られる。代表作に「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」「河童の三平」「日本妖怪大全」などがある。2009年7月から雑誌「ビッグコミック」で『水木しげるの遠野物語』連載。2010年2月『水木しげるの遠野物語』（小学館）出版。1991年紫綬褒章授章。2003年旭日小綬章授章。2007年「のんのんばあとオレ」でフランス・アングレーム国際漫画祭最優秀漫画賞を受賞。

妖怪コミックの聖典誕生。『遠野物語』を水木しげる氏が漫画化!

ザシキワラシ、河童、鬼……岩手県遠野市の厳しい自然の中で、人々の想像力が生み出した妖怪たちが、今動き始める！　柳田國男氏の名著『遠野物語』は、100年前のベストセラーにして日本民俗学の原点ともなった名著です。これを水木しげる氏がコミック化。格調高い文語体で書かれた原書の魅力を、水木氏ならではの想像力・描写力で完全にビジュアル化し、新たな魅力を作りあげています。妖怪の里・現代の遠野紀行コラムも併録。

会場案内図

＜交通のご案内＞

■東北新幹線
東京―新花巻：約3時間20分　仙台―新花巻：約1時間10分

■JR釜石線
新花巻―遠野：約1時間　「遠野駅」から徒歩8分

■自動車
浦和IC―東和IC―遠野：約6時間20分
仙台宮城IC―東和IC―遠野：約2時間20分

遠野市立博物館
TONO MUNICIPAL MUSEUM
〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号
TEL.0198-62-2340　FAX.0198-62-5758
遠野市ホームページアドレス
http://www.city.tono.iwate.jp/

『遠野物語』100周年
キャラクター かたるくん

「水木しげるの遠野物語」は「『遠野物語』発刊100周年記念事業」のオフィシャルサポートキャラクターです。

©柳田國男・水木プロダクション／小学館